

はだの 農業委員会だより

第130号
平成29年12月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp

秋空に引き立つ アロエの花



アロエは、500種以上ある多肉植物で、観賞用以外に、種によって食用や薬用として栽培されています。

写真は、キダチアロエです。

(三川吉次委員撮影)

おもな内容

- 要望書を市長に提出 ----- 2
- 利用意向調査ほか ----- 3
- 農家の声 ----- 4

- 相談コーナーほか ----- 5
- カメラスケッチほか ----- 6

**「平成30年度秦野市農林業施策並びに
予算に関する要望書」を市長に提出**

8月3日、秦野市農業委員会は、「平成30年度秦野市農林業施策並びに予算に関する要望書」を、秦野市長に提出しました。この要望は、農業者の意見や考えを市政に反映できるように、農業委員を通じて農家の皆様から寄せられた意見・要望を取りまとめたものです。

当日は、鳥海会長をはじめとする運営委員が出席しました。その後の市長との懇談会では、農業のあり方について意見交換が行われました。

要望の内容

**一 農地の保全・有効利用
対策について**

農業を取り巻く様々な問題から、荒廃・遊休農地は増加する傾向にあるが、将来に向かって優良農地として確保・保全し有効利用が図られるよ

う、7件の施策を要望。

● 荒廃・遊休農地の発生防止及びその解消に向けた取り組みを行うこと。

● 荒廃・遊休農地対策として、観光農地化への誘導等、荒廃・遊休農地を積極的に活用した施策を実施し、農地の確保と有効利用を図ること。



要望書を手渡す鳥海会長（右）と古谷市長

● 耕地・農道整備を行い、耕作可能な環境を整えることなど。

二 担い手・経営対策について

農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しているが、農業者以外の方が農業に高い関心を示すなど、農業をめぐる環境は変化しつつあるため、状況の変化に柔軟に対応し、担い手確保対策と農業経営の安定のため、2件の施策を要望。

● 認定農業者に対する支援の拡充や、認定取得希望者に対する助言・指導を行うこと。

● 女性農業者の拡大を図るため支援体制の確立や、女性農業者の参入について関係団体へ積極的に働きかけること。

三 地域の活性化対策について

地域の特性を生かした農業振興と、生産者を身近に感じられる地産地消の推進など、秦野らしい農業を実現するた

め、6件の施策を要望

● 「秦野優良農産物等登録認証制度」について、市民や生産者へPRするとともに、支援を行うこと。

● 安全で新鮮な地場農産物を



右から北村会長職務代理者、古宮委員、小山田委員、鳥海会長、古谷市長、松下委員、小宮委員、草山委員

消費者に供給するため、直売所の整備、充実が図られるよう支援を行うこと。

● 本市都市農業の更なる振興、発展のため、観光型農業を取り入れること。など。

四 有害鳥獣対策について

農作物への被害、それに伴う農業者の営農意欲の低下及び荒廃・遊休農地の発生要因となつている有害鳥獣について、その撲滅に向けた更なる対策を講じるよう6件の施策を要望。

● 農業者が個別に鳥獣害防止策がとれるよう、その設置費用について助成を行うとともに、十分な被害防止対策を講じること。

● 有害鳥獣の駆除について、迅速な対応を行うとともに、被害軽減に向けた調査研究を行うこと。

● 有害鳥獣の個体数抑制を推進するために、ハンター及び捕獲管理者に対する報奨制度をつくること。など。

利用意向調査にご協力ください

農業委員会は、農地の利用状況調査を、8月から9月にかけて実施しました。この調査で見付かった遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施します。

この調査は、所有者に対して主に①農地中間管理機構（神奈川県では、公益社団法人神奈川県農業公社）を利用する、②自ら所有権の移転又は賃借権その他の使用収益を目的とする権利の設定若しくは移転を行う、③自ら耕作・管理する（している）等の意向を確認します。

なお、調査時に、休耕だったり次の作付の準備前だったりする場合に、遊休農地とみえてしまい、利用意向調査を送付することがあります。

詳しくは、第127号（平成28年12月発行）をご覧ください。

遊休農地をなくそう

遊休農地が発生すると、その農地だけでなく周辺の農地の悪化につながります。雑草・竹の繁茂、種子の飛散、病害虫の発生、有害鳥獣のすみかなどがあげられます。また、タバコ・放火による火災の発生、不法投棄、悪臭など近隣住民に対する生活環境衛生上においても問題が出てきます。

農業委員会には、農業者だけでなく農業者以外の市民からも遊休農地の改善を求める意見・要望が多く寄せられます。特定の農地が指摘されることもあります。

農地は遊休化せず、耕作・管理することが原則ですので、適正管理をするようお願いいたします。それが難しい場合は、担い手等への貸付けを考えてみてください。

（一社）神奈川県農業会議「農政活動協力金」への「ご協力をお願いします」

一般社団法人神奈川県農業会議では、神奈川の農業に携わる農業者の声を国や県の農業施策に反映し、農業者の皆さんが安心して農業経営を継続していただけるよう農政対策活動を展開しています。

この活動を進めるため、「農政活動協力金」へのご協力をお願いします。

協力は、農家一戸当たり500円です。

農政対策活動は次のようなものです。

- ・ 農業委員会を通じて農家の皆様の要望を集約し、県知事に意見書を提出。
- ・ 農業委員会で検討した意見を積み上げ、税制改正を要望。
- ・ 都市農業振興基本法の施行を受けた国の基本計画の策定を求めた働きかけ。

「全国農地ナビ」を活用ください

市街化区域以外の農地について、公表することと定められた農地台帳の項目（地番、地目、面積など）と農地の地図情報を合わせて、インターネットなどで公表しています。

「農地情報公開システム（全国農地ナビ）」によるインターネットの利用のほか、窓口の対応も行なっています。

お問い合わせ
農業委員会事務局

☎8219654

全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料月700円
- お申し込みは、地元の農業委員、または事務局まで。

☎8219654

農家の声



農業を始めて

平柳 香（羽根）



当に大変だということ、その割に値段が安いということ。種を撒いてから早い物で一ヶ月、遅い物は一年以上の時間がかかり、その間、悪天候や害虫、動物などの被害もあり、最悪ほぼ全滅という場面も何度ありました。

20年位前から、夫婦で半自給自足の生活を送りたいと考えていました。2006年に秦野に移り住み、農業塾という制度があることを知り、夫が入塾し、その後独学で、農薬・化学肥料不使用の栽培方法を勉強（現在も勉強中）し、2012年に就農しました。夫婦二人、約5反の畑で40種類80品種位の野菜を作り、じばさんずに出荷しています。農作業をやっているのは本

4K、汚い、きつい、食えない、汗臭い、では農家の担い手が減っていくのも無理ないないつも夫と話しています。そんなときでも、野菜を買ってくださったお客様から「いつも美味しい野菜ありがとうございます！」や「子供が野菜好きになりましたー」などの言葉をいただく、しみじみ良かったなーと思います。また働く力が湧いてきます。そして何より自由な発想で野菜を作る喜び、美味しいものを自分たちも食す喜び、地域の人たちや農業仲間、お客様たちとの交流、自然の中で、

富士の見える

畑で思うこと

松倉 毅彦（寺山）



我が家の畑からは、低い山や岡の重なるの向こうに、大きく秀峰富士の姿を臨むことができます。特に冬、雪を頂いた富士がほんのり赤く染まった姿には、心の安らぎを覚えます。時折、カメラを首に提げた方を見かけることも

頭と体を使って作業するので認知症予防になるなど、農業には素晴らしいこともたくさんあります。これからは、カッコよく、高齢になっても、稼げる、好感度ナンバーワンの仕事（二ユー4K）として若い人たち

あります。

思いがけず家内が田畑を相続し、今の場所で農業を始めて5年になります。と言って

も農家仕事は、ほとんど家内が行っていて、私はというと、毎朝の野菜収穫と、土日祝日の農作業だけで、平日は勤務に出ていて、農業者とは全く言えません。子供の頃、信州の田舎でやらされた農業の手伝い程度の知識では、この地で特に役に立つはずもなく、

近隣の方の助言やインターネットを参考に試行錯誤の連続です。水田では、昨年から「はるみ」を育て、畑では一通りの野菜が育っています。家内が、比較的熱心に農業を勉強しているの、作物の選定や管理は、基本的に任せつ

にも目指して欲しいと思っています。まだまだ私は半人前ですが、知力・体力全開の夫の少しでも支えになれるよう、今日も明日も明後日も、ずうっとノーギョウ、のうぎよう、農業です！

きりになっていますが、その努力があつてか、野菜を喜んで買っていただけるまでになりつつあります。

しかし、私にとつてこの二足の草鞋を履いての生活は、一年中休みらしい休みもなく、体力的にもつらくなくてきています。中古のトラクターやコンバインなどを購入して、いっぱしの顔はしていますが、寄る年波に勝てるわけもなく、そろそろ農業だけに専念して、それを楽しみながらやるしかないかもしれないと思ひ始めています。

畑の一隅に誰も手を出さない死角のような場所があり、そこを私は長芋畑にしています。狭いところですが、私の楽しみ場所です。試しの場です。ですからまだ小規模です。長芋は小さかった頃の長女が好きな食べ物の一つであったので、ここ二年ばかりいろいろと試しています。唯一此処だけが、私がほとんど管理している場所です。



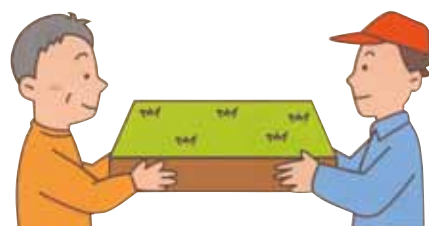
Q 市街化区域内の農地を耕作目的で買った借りたりする場合にも、農地法の許可が必要なのですか。

A 都市計画法に基づく市街化区域とは、計画的に市街化を図るべき区域として設定されるものです。その設定に当たっては、市街地としての都市的土地利用と農業上の土地利用との調整を図る必要があるため、国土交通大臣と農林水産大臣が協議することになっていきます。

このような市街化区域の性格から、市街化区域内の農地の転用については、農業委員会に対し届出をすれば足りることとしています。

しかし、市街化区域内の農地であっても、市街地整備の進捗状況との関連もあり、一定期間農地として利用され、

転用されるまでは、都市住民に対する野菜等の供給基地として重要な役割を果たすものも相当あります。そのため、市街化区域内の農地を耕作目的で買った借りたりする場合には、あくまで農業上効率的に利用される必要があるため、農地法第3条の許可を受ける必要があります。



農業委員会活動報告

(平成29年7月～平成29年10月)

●総会

7月25日、8月25日
9月25日、10月25日

(主な審議案件と件数・面積は下表のとおり)

●運営委員会

7月13日、10月13日

●編集委員会

9月25日、10月25日

■総会の主な審議案件と件数

審議案件	件数	面積 (㎡)
耕作目的の売買・賃借 (3条許可)	3	2,632.00
市街化調整区域内の転用 (4・5条許可)	8	7,927.48
市街化区域内の転用 (4・5条届出)	75	28,429.18
利用権の設定	13	27,235.00
相続税納税猶予	4	16,909.73

お知らせ

農業委員会等に関する法律の一部改正による「秦野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例(案)」を、平成29年秦野市議会第4回定例会に議案提出しました。

お問い合わせ

市農産課農業振興担当

☎ 82-9626

農業委員会事務局

☎ 82-9654

支援センター通信

荒廃農地解消事業

(荒廃農地解消市民ボランティアの会)

との協働活動

サツマイモ収穫

東田原地内の遊休農地を復元した農地で、市立東小学校児童と一緒にサツマイモとダイズを栽培しています。

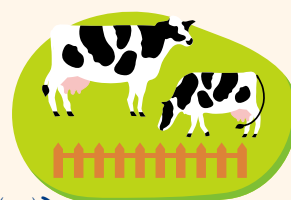
10月14日(土)に、その一部を収穫(ダイズはエダマメとして)しました。あいにくの小雨が降る天気でしたが、児童は、元気よく収穫していました。

「市民の日」出店

11月3日(金)の文化の日に、開催された第38回秦野市民の日に、荒廃農地解消事業のPRのため出店しました。

パネルや写真の展示で活動をPRしたり、会への参加募集を呼びかけたりしました。また収穫したサツマイモやその加工品を販売しました。





畜産まつり開催 (10/1日)



10月1日(日)に秦野市畜産まつり(主催:秦野市畜産会)が、田原ふるさと公園で開催されました。当日は晴天に恵まれ、子供たちをはじめ、大勢の方が来場する大盛況ぶりでした。

用意した豚肉バーベキュー、焼きそば、牛乳試飲などは、午前10時に始まったにもかかわらず、正午には完売するほどでした。

小動物(子羊・子牛)ふれあいコーナーや乗馬体験(ポニー)、乳しぼり体験もあり、子供たちに大人気でした。

(右) チャンピオン
(左) グランドチャンピオン



同時開催の畜産共進会は、今年で61回を迎えました。当日は、多々ある家畜の内、乳牛が出品されました。なお、他の家畜は事前に審査を実施しました。いずれの家畜も優秀で、甲乙つけがたい立派なもので、審査は難しかったとのことでした。

農業者年金に加入しませんか?

農業者年金は、農業者の老後の生活を安定させるとともに福祉の向上と農業者の確保を目的とする公的年金制度で、次の条件を満たせばどなたでも加入できます。

- ・年間農業従事日数が60日以上。
 - ・60歳未満の方。
 - ・国民年金1号被保険者であること。
- ◎確定拠出型の年金で、次の長所があります。
- ・年金額が加入者数・受給者数に影響されない。
 - ・保険料は全額控除対象。
 - ・保険料の国庫補助(一定の要件が必要)。

お問合せ

農業委員会事務局

☎82-9654

はだの都市農業支援センター

☎81-7800



編集後記

9月には、大型台風18号が日本列島を縦断するように通過し、各地に記録的短時間に強風や大雨をもたらしました。台風の影響で家屋の損壊、土砂災害、河川が氾濫するなどの被害が発生しました。

私たち農家は、今後、天候や地域の環境変化に柔軟に対応できる心掛けを持って農作業に励んでまいりましょう。

(編集委員 飯塚 義之)

